

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

上段は圏域全体で一週間に診断した患者数 下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数

1. 定点把握対象疾患の発生動向

*は急性呼吸器感染症(ARI)に含まれる感染症

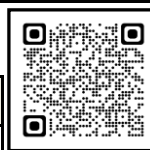
令和7年5月30日 発行

疾 病		疫学週			
		18 週 4月28日 ~ 5月4日	19 週 5月5日 ~ 5月11日	20 週 5月12日 ~ 5月18日	21 週 5月19日 ~ 5月25日
イ ス 新 へ 急 感 型 A 性 フ ル 症 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症	急性呼吸器感染症(ARI)	662 132.40	570 114.00	668 133.60	724 144.80
	インフルエンザ *	4 0.80	2 0.40	1 0.20	1 0.20
	新型コロナウイルス感染症 *	7 1.40	1 0.20	4 0.80	5 1.00
小 児 科 定 点	RSウイルス感染症 *				
	咽頭結膜熱 *		1 0.33		1 0.33
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 *	11 3.67	11 3.67	16 5.33	11 3.67
	感染性胃腸炎	20 6.67	9 3.00	17 5.67	9 3.00
	水痘	1 0.33		1 0.33	
	手足口病				
	伝染性紅斑	13 4.33	3 1.00	15 5.00	13 4.33
	突発性発しん	2 0.67	2 0.67		1 0.33
	ヘルパンギーナ *				
	流行性耳下腺炎			2 0.67	
眼 科 定 点	急性出血性結膜炎				1 1.00
	流行性角結膜炎		1 1.00	3 3.00	
基 幹 定 点	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		1 1.00		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)			1 1.00	
	マイコプラズマ肺炎	1 1.00		1 1.00	
	無菌性髄膜炎				
拡 張 疾 患	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1	1	1	
	川崎病			1	
	不明発疹症				

大崎保健所管内定点数: 内科定点2施設 小児科定点3施設 眼科定点1施設 基幹定点1施設

2. 集団発生状況 ※栗原管内の過去2週間における保健所対応状況

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	—	—	—
備考			



感染症情報は
こちら



感染症予防啓発物品
の貸出しはこちら



性感染症検査の
申込みはこちら

3. 栗原支所より

◎:複数対応中、○:対応施設あり、—:対応無し

【定点把握対象疾患の発生動向】※栗原管内を含む大崎管内

- ・急性呼吸器感染症、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、伝染性紅斑、突発性発しん、急性出血性結膜炎が発生しています。
- ・伝染性紅斑は県全体で連続して定点当たりの患者報告数が増加しており、警戒が必要です。

【感染症コラム～川崎病～】

- ・主に4歳以下に好発する原因不明の発熱性疾患で、他人にうつることはないといわれています。
- ・その原因は特定されていませんが、候補として細菌やウイルスの感染、なんらかの環境物質による刺激などが挙げられています。
- ・主な症状は発熱、目の充血、唇や口腔発赤、発疹、リンパ節の腫れ、手足先が赤く腫れるなどです。
- ・小さなお子さんでBCGを注射した場所が紅く腫れ上がることも特徴です。
- ・川崎病は治療をしなくても時間が経てば症状はなくなりますが、無治療だと25%の人で心臓の血管(冠動脈)の合併症がみられるため、早期に受診することが望ましいです。

【集団発生状況】※栗原管内

- ・新たな集団発生はありません。

【お知らせ】

- ・県全体で百日咳の報告数が増加しています。引き続き感染対策を徹底してください。
- ・海外渡航者に対する感染症予防啓発について、情報提供します。
- ・厚生労働省検疫所ホームページ

